

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

本事業における区分

今年度より“環境整備“に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：(一社) Reborn-Art Festival

活動地域：宮城県石巻市

ワクワクする循環を増やす。

挑戦できるまち、石巻。

活動団体紹介

3.11から10年

震源地に最も近い街 石巻



人口：140,068人 (震災直前は163,602人)
(令和3年5月現在)

- 2015 実行委員会結成
- 2016 プレイベント
Reborn-Art Festival × ap bank fes 2016
7/29~7/31 (前夜祭+2日間)
来場者延べ39,000人
- 2017 第一回本祭
Reborn-Art Festival 2017
7/22~9/10 (51日間)
来場者延べ26万人
- 2018 プレイベント
TRANSIT! Reborn-Art 2018
8/4~9/2 (30日間)
来場者延べ8,000人
- 2019 第二回本祭
Reborn-Art Festival 2019
8/3~9/29 (58日間)
来場者延べ44万人

ap
bank



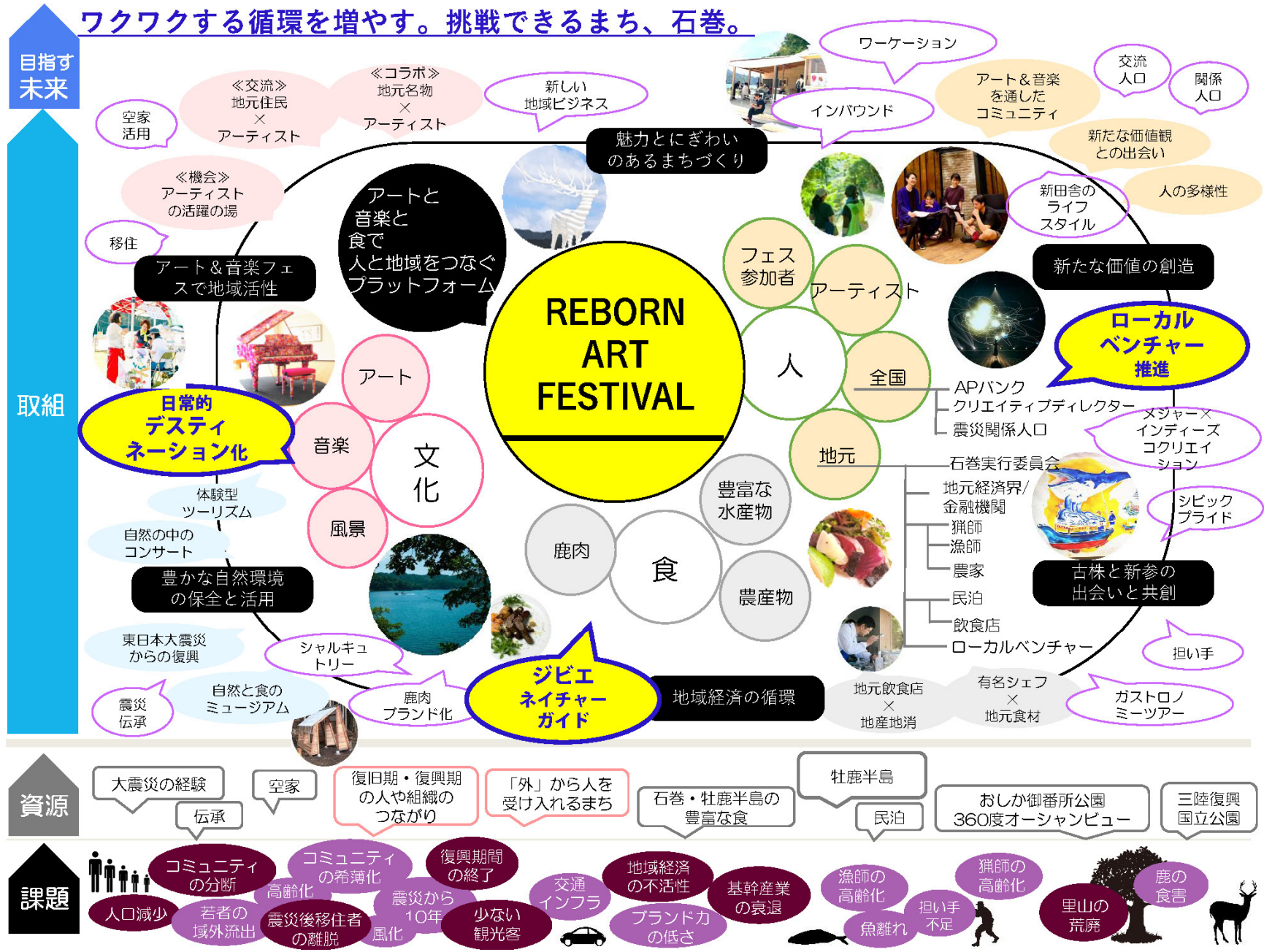
Reborn-Art = 「人が生きる術 (すべ)」

音楽・食・現代アートの総合祭

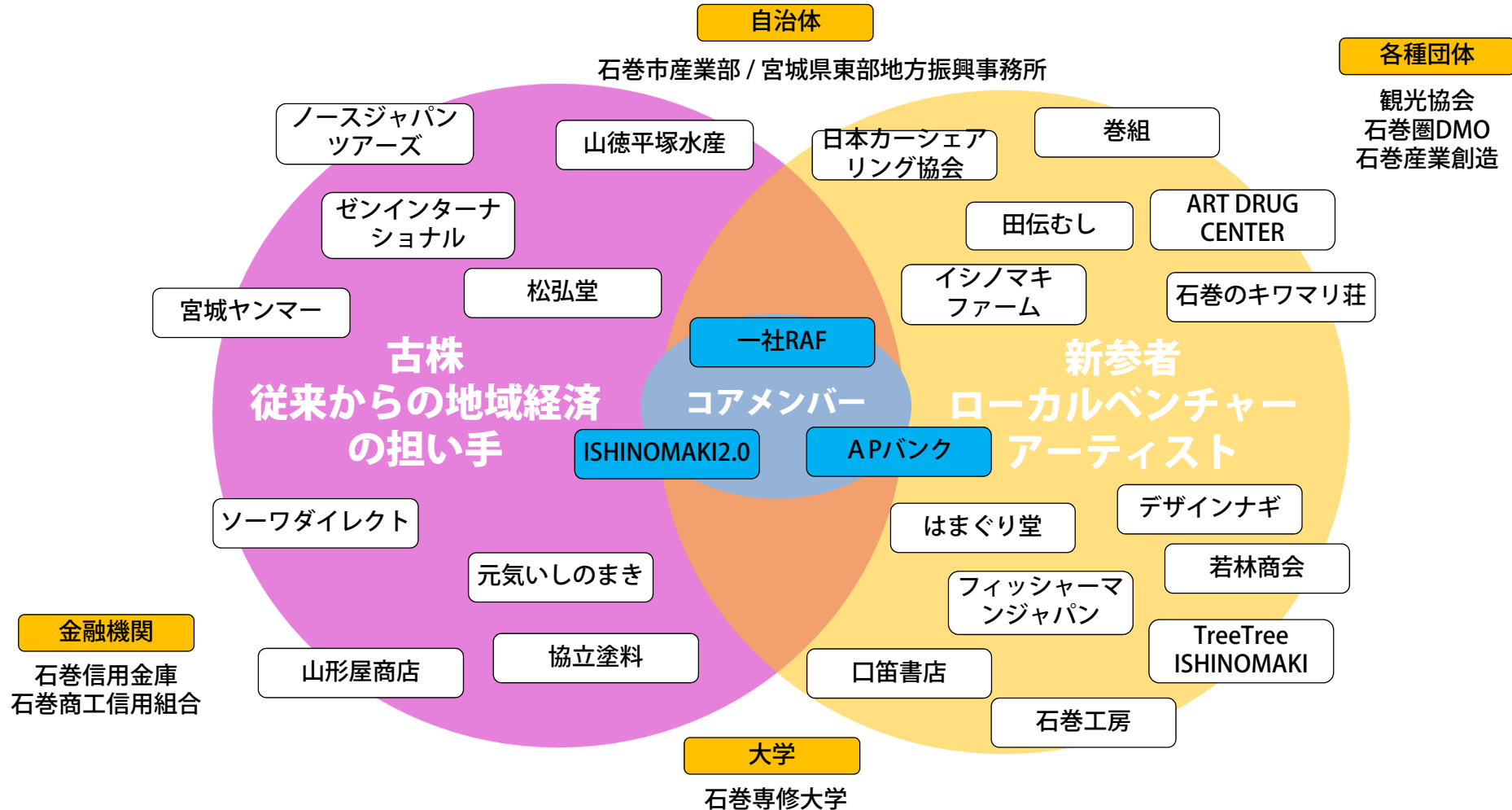


現時点での地域版マンダラ

ワクワクする循環を増やす。挑戦できるまち、石巻。



地域プラットフォームの現状



多様な循環を生み出すべく、行政、大学、金融機関、産業界（一次産業・流通・観光など）、移住者などのステークホルダーで地域プラットフォームを構成。

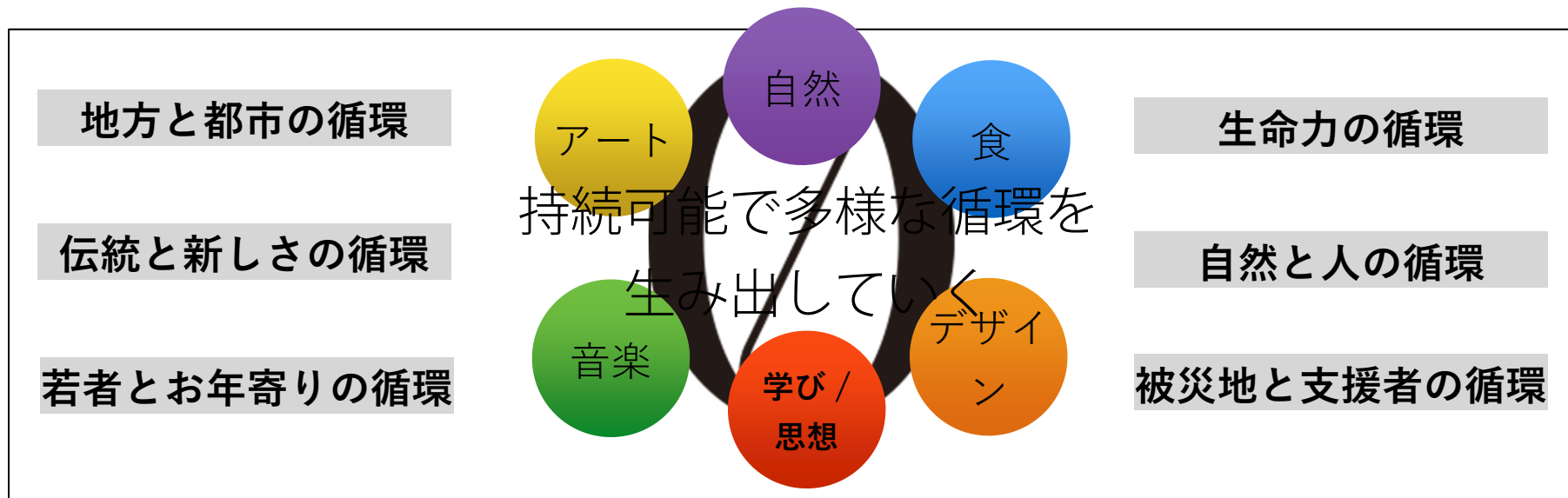
震災後、石巻ではローカルベンチャーやアーティストが新しい取り組みを始めているが、そうした主体と従来から地域経済を支えてきた主体の共創・融合が特に重要であると考えている。

どんな“ローカルSDGs事業”を生み出したいか

ありたい地域の未来

震災を契機として生まれたワクワクする挑戦を持続可能な取り組みとして循環させていく

ありたい地域の未来を達成するための“ローカルSDGs事業”は何か



今年度取組もうとしている事

- ・ 古株と新参者の出会いと共創の場づくり(メジャー×インディーズ・コクリエーション)
- ・ 鹿肉ジビエや持続可能な食への取り組み
- ・ 石巻・牡鹿半島の日常的デスティネーション化

年間スケジュール（参考資料）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			◆キックオフミーティング ↔ 協定締結（活動予算執行開始				Reborn-Art Festival 2021-22夏会期		◆中間報告会 ◆中間報告書提出期限		◆活動団体	◆成果報告会 ◆成果報告書提出
古株と新参者の出会いと共創の場づくり				◆ワークショップ①	◆ワークショップ②		◆ワークショップ③	◆ワークショップ④	◆ワークショップ⑤		◆成果発表イベント	
			↔ 今年度事業に向けたリサーチ・事業内容検討				共創商品・プログラム開発					
鹿肉ジビエや持続可能な食への取り組み			準備・リサーチ			◆食のシンポジウム ◆フードアドベンチャーツアー						
石巻・牡鹿半島の日常的デスティネーション化							Reborn-Art Festival 2021-22（夏会期）ツアー	◆教育旅行受入れ				
												↔ 春会期ツアーおよび常設ツアーについてのリサーチ・造成検討